

上原行照大阿闍梨による特別祈禱

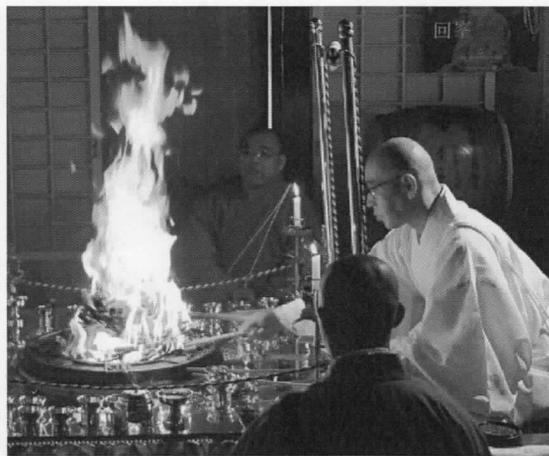
～ 不二の祈り ～

10月3日(火)、特別祈禱『不二の祈り』が挙行されました。今年、回峰行の祖、相応和尚の1100年御遠忌にあたります。

9月には釜堀浩元阿闍梨様が千日回峰行を満行され、織田信長による比叡山焼き討ち以降51人目の「北嶺大行満大阿闍梨」となられました。天台宗として特別な期間中にもかかわらず、今年も比叡山にて千日回峰行を満行された上原行照大阿闍梨様が東円寺にご来駕され、お1人お1人の願いをお不動様へ届けてくださいました。今年で4年目を迎えました『不二の祈り』ですが、上原阿闍梨様は法話の中で、参詣された方々へ「今ここで皆様にお会いできたのも仏様のご縁です」とおっしゃられました。そしてご自身と釜堀阿闍梨様のご縁に触れられ、「縁をつなぐ」という事が大切なのだとお話してくださいました。東円寺ではこれからも一人でも多くの方々に『不二の祈り』が、お不動様とのご縁をつなぐ場でありたいと思います。

今年も残すところあと僅かになりました。本年も、正月の初不動交通安全祈願祭や四月の子育地藏尊大祭、お盆、秋の諏訪明神大祭、十月三日の比叡山千日回峰行者上原大阿闍梨様による特別祈禱不二の祈り、最後はお会式とたくさんの方々の行事を無事盛大に円成できました。また、恒例の比叡山への団参では意義ある供養を行うことが出来ました。行事の都度、役員の皆様方にはご助力を賜り、諸行事が恙なく進行できました。誠にありがとうございます。さらに、今年も念願の鐘楼門の耐震化工事があり、多くの方々の浄財にて立派に修復、落慶の運びとなりました。その間、工事に携わった業者の方々や寺の役員様には並々ならぬご尽力を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。慶応元年に建立されて以来、今回は二度目の修復工事でした。鐘楼門の面目新たに、これから百年・二百年と檀信徒の皆様をお迎えすることでしょう。十一月八日には、東円寺を会場にして天台宗神奈川教区各寺院の檀信徒会の役員様七十余名を迎え、檀信徒会役員研修会と教区寺院の住職様方四十余名の出仕にて天台大師報恩の霜月会が行われました。東円寺には檀信徒会がないので、檀徒総代、寺世話人、責任役員さん方に参列して頂き、親交を深めて頂きました。終わりにりましたが、日頃より皆様の御先祖様の菩提寺である東円寺に対しての暖かいお心遣いやご協力に衷心より感謝申し上げます。これからも東円寺のさらなる発展を目指し努力を重ねますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

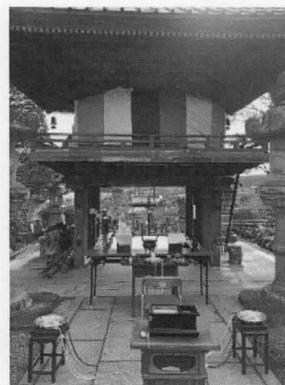
合掌



不二の祈り護摩祈禱



鐘楼門落慶法要



鐘楼門耐震化工事落慶法要

～ご報告～

平成29年11月22日、東円寺法類寺院である東京の成就寺ご住職様を導師にお迎えして、鐘楼門の落慶法要を執り行わせていただきました。浄財を寄進していただいた皆様には心から感謝申し上げます。

諏訪明神大祭 9月19日～20日

諏訪明神大祭 神輿加持



神仏習合の名残を色濃く残す、忍草諏訪明神大祭は、東円寺と忍草浅間神社が決められた役割分担を江戸時代の風習そのままに引き継がれたお祭りです。

廃仏毀釈という大きな政変の波に飲まれることなく、伝統を引き継いできた東円寺は、諏訪明神大祭のお供えものを調達すること、直会の準備をすることは当たり前でした。この伝統・風習は次世代にも変わることなく受け継がれていくことでしょう。20年ほど前は、神社の祭りに寺院が関与している、そんな風に思われていました。このような意識も、時代背景が影響していたように感じます。今年も、盛大に諏訪明神大祭が終わりましたのも、浅間神社の役員様を始めとする氏子の皆様のご協力のお陰です。心から感謝申し上げます。

～お会式ご報告～

今年11月3日は、回峰行の祖、相応和尚が遷化されて1100年という特別な日でした。ご参列いただいた方は、仏様、またご先祖様とゆっくり向かい合うことができましたでしょうか。

ご出仕いただいている和尚さんは、東京と神奈川からお越しいただいています。東円寺住職と法嗣合わせまして、総勢10名の僧侶の読経は、東円寺の本堂いっぱいに響いていました。

数日前の天気予報では、あまり良くない予報でしたが、晴天に恵まれて暖かく過ごしやすい一日でした。大勢の方にお参りいただきました。これほど多くの方が来られたのは初めてだと思います。特別な年にふさわしい、特別なお会式になりました。



～仏参金納入口座のお知らせ～

郵便口座

記号10800 番号6654231

口座名 トウエンジ 又は 東円寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通
121086 東円寺

「かわら版」をご覧ください
行事の様子や会計報告などを
させていただいています。
本堂や客殿、本堂脇の掲示板
などに掲示しています。



次回団参予定
平成30年
6月17日(日)～
6月19日(火)
比叡山先祖供養団参
「伊勢志摩・賢島」方面
詳しくは東円寺だより
「春彼岸号」にてお知らせ
いたします。
どうぞお楽しみに。

東円寺初不動交通安全祈願祭

1月28日 午後2時より

初不動護摩祈禱

東円寺の初不動大祭は、交通安全祈願が主であります。昭和40年代、自動車の普及により、死亡事故が急増しました。これを受けて、当時の忍野村交通安全協会会長様の発願によって交通安全祈願祭が行われ、現在に至っています。以後、富士吉田警察署からも署長さんを始め数名の署員さんがお越しくださっています。忍野村におきましては、交通死亡事故ゼロが今年7千日を突破し、山梨県知事から表彰されています。現在も更新中です。人の悩みは尽きません。年初め、今年が良き年となりますよう心を込めて祈禱させていただきます。別紙にて、祈禱申込用紙をご用意させていただきました。又、合格祈願等も受け付けております。ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



◆のぼり幡奉納寄付◆

随時受け付けております。1枚3千円
祈願申込みは、当日混雑が予想されますので
1月20日までにお願い致します。

※当日受付可

土足参内

今年9月、釜堀浩元（かまほりこうげん）大阿闍梨様が比叡山の荒行「千日回峰行」を満行されました。そして10月14日、行の締めくくりでもある、土足参内（どそくさんだい）が京都御所にて行われました。土足参内は、千日回峰行の祖で今年1100年遠忌を迎えた相応和尚（そうおうかしょう）（831～918年）が、858年、病に苦しむ天皇の女御（にょうご、高位の女官）のもとへ草鞋（わらじ）履きで御所へ上がってご祈禱すると、たちまち病が治ったという故事にちなんで行われている儀式です。江戸時代の大名ですら浅沓（あさぐつ）に履き替えて入らなければならない宜秋門を草鞋のままで入ることを許されたことから「土足参内」の呼び名が付いたと伝えられています。

今回この儀式に手伝いとして参加させていただきました。阿闍梨様は京都大廻り中とはガラリと違う穏やかな表情をされていたのが印象に残っています。900人に及ぶ参列者が列をなして御所に向い歩く姿はとても圧巻であるとともに、大阿闍梨という存在の偉大さを改めて感じました。

5月に京都大廻りをされたときに履かれた草鞋が東円寺の不動尊御宝前にお祀りしてあります。皆様にも是非ご覧いただきたく存じますので、東円寺をお参りの際にお申し出くださいませ。 慈法 記

～大晦日には、除夜の鐘を撞きましょう～

毎年12月31日の夜中より元旦にかけて、除夜の鐘を撞いています。除夜の鐘は一年の終わりであると同時に、新しい年の始まりでもあります。行く年来る年の要に響き渡る鐘の音と共に、新年に向けての新たな決意を呼び起こしてくれます。是非、東円寺の除夜の鐘を撞きに來てください。温かい汁物や甘酒などをご用意してお待ちしています。

お願い
泥酔状態での
鐘撞きはとても
危険なので
やめましょう。



寺庭のつばやき

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。今年は、8月に入りますと雨の日が多く夏を感じないまま、秋のお彼岸に入り、そろそろ富士山の雪化粧が見られるかしらと心待ちにしながら、その美しい姿を見ることができず、待ち焦がれていた雪化粧を目にするころには秋の気配は消え、11月は真冬のような寒さに四季の移ろいを愛でる暇なく師走を迎えています。酉年というのは、政変などが起こるパタパタとした年になると言われております。ニュースでは、毎日人が殺されるという痛ましい事件が報道されていますが、どこか当たり前の出来事のように、情報が通り過ぎていくように感じるのは気のせいでしょうか。人は、誰かの尊い息子であり娘であり孫です。あるいは親かもしれません。日本人の何よりも優れているところは、見えないものを見る力です。その力が失われつつあることは、とても悲しいことです。

天台宗の祖、伝教大師様は「生きとし生けるもの全てに命があり、その尊い命は、山も川も草も木もすべて平等に同じ命を生きていて、そのすべてが影響しあい世界は成り立っている。自分が生きているということは、生かされていることであると感じたならば、皆のことも生かさなければならない。」と言われております。言葉にすると当たり前のことですが、当たり前を実践することがなによりも難しいことです。お盆・秋彼岸・諏訪明神大祭・不二の祈り・お会式・神奈川教区霜月会・東日本詠舞大会・鐘楼門落慶と、時に感謝の祈りであり、幸福を願う祈りを捧げていただきました。気忙しい多様化した時代を生きている私たちですが、祈りを捧げることによって、自分のことだけに囚われず、生かされていることを知ると、明るい心で生きられると思います。役員様を始め、多くの方の御尽力によって、祈りの場所を作っていただいております。衷心から感謝申し上げます。来年も東円寺の更なる発展に精進して参りますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

～ご詠歌講中募集～

11月15日～16日は、岩手県花巻市において、叡山講福聚教会東日本奉詠舞大会と、中尊寺にて東日本大震災物故者七回忌法要が行われました。小雨の降る中、平泉中尊寺の本堂で、天台座主猊下大導師のもと慰霊法要並びに復興祈願法要が厳修されました。叡山講福聚教会は、奉詠舞を通して伝教大師様のみ教えを身近な実践に掲げています。この大会は、一年おきに東西で行われております。今年は東日本で開催されましたので、来年は西日本（神戸）で開催される予定です。再来年は、東日本（長野県）で開催される予定が決定しております。いつの日か、東円寺支部としてこのような大会に参加させていただけるよう研鑽を深めております。年齢・男女問わず講員を募集しております。お気軽にお問い合わせください。

☆3月～12月 第2・4月曜日
午後2時～3時



東円寺一隅を照らす会活動報告

平成29年10月25日第56回富士山美化清掃終了報告祭にて、「公益財団法人富士山をきれいにする会」から、「東円寺一隅を照らす会」に対して、自然環境の美化清掃と公德心の高揚啓発を長年にわたり尽力したということで表彰されました。富士山北口本宮の社殿で表彰式は行われました。東円寺一隅の会会長が代表して、表彰状と記念のクリスタルの楯を頂戴しました。役員様を始め、多くの方に支えられて今日があることに感謝し、東円寺一隅を照らす会は、今後も伝教大師様のみ教えを実践して参りますのでご協力をお願いいたします。また、一隅会会員を募集しております。お気軽にお問い合わせください。